

令和3年度保護者・保証人のみなさまへのアンケート集計結果 — 概 要 —

令和 4年 3月24日
学 務 部 学 生 課

例年、当該アンケート調査は、総合文化祭期間中開催の保護者懇談会に参加していた保護者・保証人を対象として行っていたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により総合文化祭における保護者懇談会が開催されなかったため、郵送によりアンケート用紙を送付し、回答はWeb（Formsを利用）により受け付ける形式で実施した。（受付期間：令和4年2月10日～令和4年2月28日）

回答率は、全学平均で43.70%であった。（昨年度との比較：令和2年度はWebと郵送の併用で47.95%）

昨年度同様、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた学生に対する本学独自の支援を紹介したペーパーを添付し、アンケートに回答しやすいよう環境を整え実施した。

○本学が実施した新型コロナウイルスに関する学生の支援のうち、ご存じのものをお知らせください。

学生への支援について、本学の支援は、どんな点が不足だと思いますか。

あるいは、今後さらに充実して欲しいと思われる支援について、お知らせください。

学生支援のうち、「100円昼食・100円夕食」「学内アルバイト支援」は、認知度が高かった。

不足あるいは今後さらに充実してほしいと思われる支援事項は、「⑦経済的支援」、「③就職についての支援」、「②キャリア教育についての支援」「①修学に関する支援」の順となった。また、「⑪生活全般に対する支援」、「⑤健康管理についての支援」「④学生生活上の悩みに対する支援」の希望も多く、新型コロナウイルス感染症に影響を受けていることへの支援の希望が多い結果となった。

また、具体的な支援策については、「⑦経済的支援」に関しては、「奨学金制度の充実、アルバイト支援の充実」が、「③就職についての支援」「②キャリア教育についての支援」に関しては、「資格試験対策、面接試験対策」を求める声が寄せられている。

○弘前大学の情報発信についてどう思われますか？

弘前大学の情報発信について、回答者の9割以上が、弘前大学のホームページを閲覧しており、特に「公式ホームページ」、「入試情報」、「所属学部のホームページ」を多く閲覧していることが確認できた。また、WEBマガジン「HIROMAGA（ヒロマガ）」も、5割以上が閲覧しており、昨年度より認知度が上昇している（昨年度は26.1%）。一方、本学のSNSはあまり閲覧されておらず、何らかの周知を図ることが必要と思われる。

また、webの情報発信を閲覧する媒体を質問したところ、「スマートフォン」との回答が最多であり、スマートフォンで閲覧されることを想定したwebの作りが必要と思われる。

さらに、情報発信についての要望を確認したところ、コロナ禍のなか、学生がどのように過ごしているのか（授業・実習・研究・課外活動）についての発信を希望するご意見が一番多く寄せられた。

○弘前大学に入学したことに対するご感想、ご要望その他お気づきの点がございましたら、

ご自由にお書き願います。

いろいろなご指摘やご要望をいただいている中で、3割以上の保護者・保証人から、「良い大学に入学したと思っている。」「学生に対する支援が充実している。」「コロナワクチン接種の実施に感謝している」等の好意的な意見が寄せられた。

しかしながら、できる限り対面授業を求める意見や、コロナ禍での友人等との交流不足等、対人関係に関する意見が寄せられた。